

## 天野屋市兵衛家文書(1)概要

1:文書群番号	062001
2:文書群名	天野屋市兵衛家文書(1)
3:出所	天野屋
4:家業・役職等	尼崎中在家町五丁目浜出買人／中在家町生魚問屋
5:地名	摂津国川辺郡尼崎中在家町／兵庫県川辺郡尼崎町ノ内尼崎町／尼崎市 中在家町
6:行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
7:歴史	天野家は近世から近代にかけて中在家町で生魚問屋を営んでいた。 中在家町は元和4年(1618)に開始された尼崎城の築城にともなって、 城の西方に移転・建設された町で、生魚問屋をはじめ漁業関係の商人や 漁民が多く居住した。同町には当初東部の戎の浜に、宝暦8年(1758)の 移転以降は西の大浜筋4丁目に魚市場があり、近海や西国各地から魚が 入荷し、尼崎だけでなく大坂・京都にまで出荷するなど、生魚取引の中 心地であった。
8:伝来	昭和37年、市史編集室が古書籍商より購入。同家文書(2)54点、同氏 文書(1)2点と本来一体であると考えられる。
9:史料入手先	古書籍商
10:点数	749点(目録件数73件)
11:年代	天明3年(1783)～明治5年(1872)
12:構造と内容	金融関係史料が中心。借用証文のほか、尼崎藩年賦講、船質証文など からなる。これら金融関係の史料、特に金銀の貸付に関する史料から、 瀬戸内沿海の広域的な地域名がひろえ、生魚問屋としての天野屋の取引 先が多岐にわたっていたことが判明する。
13:関連史料	天野屋市兵衛家文書(2)(文書群番号080011)、天野屋市兵衛氏文書 (1)(文書群番号092001)、徳田善五郎氏文書(1)(2)(文書群番 号063003)、魚問屋奥田家文書(文書群番号083001)、奥田吉康氏文書 (文書群番号077004)など
14:閲覧条件	原本
15:作成者	河野未央